

2025年2月19日

環境省 第6回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」 投資家部門金賞（環境大臣賞）を受賞

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野俊亮、以下「当社」）は、環境省が実施する第6回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の投資家部門において、最優秀賞である金賞（環境大臣賞）を受賞しましたのでお知らせします。当社の金賞受賞は、アワードが創設された2019年度の第1回、2022年度の第4回に続き3度目となります。

「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」は、ESG金融または環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家や企業等について、その先進的取組等を評価・表彰し広く社会で共有することにより、ESG金融のさらなる普及・拡大とその質の向上につなげることを目的として、環境省が実施するものです。

【投資家部門金賞選定理由】



- GFANZ日本支部コンサルテティブグループ議長¹などを務め、国際的な視野も踏まえて日本のサステナブルファイナンスの健全な発展に貢献し、世界標準を日本に導入するための努力を行っている。
- グループサステナビリティ推進委員会を従業員向けに公開運営するなど、経営陣が教育にもコミットしており、エンゲージメントを重視する姿勢とこれを可能にする体制整備への強いコミットメントが高く評価された。
- 社会全体の削減効果やカーボンロックインを考慮した投資判断等の厳しい方針²も特筆された。

第一生命グループは、「環境問題への戦略的対応」を優先的に取り組む重要課題（コア・マテリアリティ）の1つと位置付け、サステナブルな社会の実現に取り組んでいます。グループの中核会社である当社は、今後も責任ある機関投資家として、中長期・安定的な運用収益の確保と社会課題解決の両立を目指す責任投資の高度化に積極的に取り組んでいきます。

¹GFANZ（Glasgow Financial Alliance for Net Zero）は、経済の脱炭素化への移行をサポートする金融のグローバルイニシアティブであり、日本支部はその世界初の国別支部として2023年6月に始動。当社取締役会長の稲垣精二が、金融機関や政府機関の代表者等で構成される同支部コンサルテティブグループの初代議長に就任（2024年6月まで）

²当社は、社会全体のトランジションに資する投融資を推進するにあたり、投融資先企業のトランジション戦略の妥当性・実現可能性に関する精査やエンゲージメントを実施しています。当社の責任投資に関する取組・方針は責任投資活動報告をご参照ください。https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ri-report_015.pdf